

足羽川ダム計画案 住民説明会概要

開催日時	場所	参加人数	質疑・意見	回答
H18. 6. 30 (金) 19:30~21:00	福井市 (福井商工会議所)	約30人	<p>・福井豪雨時に堤防が決壊したのは、河川改修を放置していたこと、流木、河道内の仮設道路、矢板が原因ではないのですか。</p>	<p>・JR橋梁の桁下が低く、引っ掛かった流木が流水を阻害しせき上げが発生した。また、工事中のため矢板や工事用道路の阻害もあります。さらに内水排水のため荒川のポンプを止められなかったことも要因です。詳しくは、福井県HPに掲載しています。</p> <p>・河川改修については、昭和30年代から1次改修、2次改修として実施してきました。幸橋、JR橋梁と架け替え、下流から掘削しようとしていたところへ福井豪雨が来た。一定の計画の下に改修を進めてきたことにご理解願いたい。</p>
			<p>・降雨の場所によってダムの効果が発揮できない場合があるのではないですか。</p>	<p>・足羽川流域では冠山、部子山の山麓に降雨が集中する傾向があります。過去の主要な洪水で検証した結果、部子川でのダム計画位置で所定の洪水調節効果が確保されることを確認しています。</p>
			<p>・導水路は1本で詰まるのであれば、2本とも詰まる恐れがあるのではないですか。また、全国的に同様の事例はあるのですか。</p>	<p>・分水堰の上流に流木や土砂を食い止める施設を設置し、導水路には水だけを流す対策を考えており、既に砂防施設として設置され効果が上がっているものもあります。施設の安全性を高めるよう、これから実験等を行い、しっかりと検討を行う予定です。また、想定外のことが発生した場合に備えて導水路を2本としています。なお、導水路を設けて洪水を導水している例はいくつかあり、既に完成しているものもあります。</p>
			<p>・堤防を強化する方法なら、ダムの何十分の一の費用で越水しても破堤せず、被害は最小限になるのではありませんか。</p>	<p>・越水しても破堤しない堤防にはスーパー堤防というものがありますが、これは堤防の高さの約30倍の幅が必要であり、福井市街地での整備は難しいと考えます。また、堤防上部にはうねりや流木が橋梁にかからないようにするため余裕高というものが設定されています。この余裕高は堤防の安全確認のための巡視ができるようにするためにも必要な部分であり、この部分を使って洪水を流すということは適切ではありません。なお、堤防の補強は危機管理の観点から重要なことですが、それによって被害がなくなることではなく、足羽川では河川改修+ダムがベストだと考えています。</p>
			<p>・国の考え計画に批判的な集まりには説明に来てもらえませんでした。いろいろな専門家の意見を聞く場を設けるつもりはないのですか。</p>	<p>・限られた人員の中で業務を行っており、すべてのご期待に添えられないという実情があります。今回、このようなご意見をお聞きする場を設けさせて頂きました。このような機会に参加していただきご意見を頂ければ有り難いと思っています。また、いろいろな意見を反映すべきということでは流域委員会がそのひとつの役割を果たしています。今後も河川整備計画原案公表の時点で住民説明会を開催し、ホームページやファクス、郵便でもご意見を頂くように考えていますので、このような場を通じてご意見を頂ければと思っています。</p>

足羽川ダム計画案 住民説明会概要

開催日時	場所	参加人数	質疑・意見	回答
H18.7.4(火) 19:30~21:00	福井市 (美山公民館)	約100人	<p>・福井豪雨の時、私の住んでいる地域では、避難時には胸の高さまで水がきていました。安心して暮らせるためダムを作って欲しいというのが私の住んでいる地域の住民の切なる願いです。(要望)</p>	<p>過去の洪水の記録を解析し、洪水の発生を確率的に表したもので、150年に1回といったように言っています。洪水の規模が大きければ大きいほど発生する確率は低くなってきます。</p>
			<p>・ダム直下の地区には全く補償がないと聞いていますが、今回のダムができると、直下の集落とか上流に残存する集落とかはできないのですか。</p>	<p>・直下の小畑にはどのような影響があるか検討のうえ、ご理解とご協力を得ていきたい。</p>
			<p>・温暖化によって、各地で異常洪水が起きていることについて、どのように考えていますか。</p>	<p>・最近の集中豪雨の増加傾向は統計的に確認しています。河川整備基本方針ではこれまでの福井で起こった洪水を検証し、150年に1回の洪水を安全に流下させることを将来の目標としています。</p>
			<p>・ダムの犠牲となって故郷を失うことになる人にどう説明していくのですか。</p>	<p>・移転される人の気持ちを踏まえ、生活再建に向けて誠心誠意対応していきたい。</p>
			<p>・ダムがあればもっと災害は少なかったと思う。福井豪雨の時に大変なご苦勞をされている人が多くおられます。孫や子供にはこういう思いを絶対させたくありません。いろんな反対もあるだろうが粛々と進めて欲しい。(要望)</p>	
			<p>・旧美山町では約40年近くの間、住民はダム問題で苦しんできました。美山町の過去のことに対し国として何らかの対策を講じて頂くことはないのですか。</p>	<p>・金銭的な補償は制度としてできないことから、国と県で美山町の社会資本整備の実施に協力したいということで、国・県・美山町で話し合いを行っています。各地区から出された要望を美山町にとりまとめて頂き、国、県、美山町で仕分けし、平成15年から順次できるものから実施しています。美山町がとりまとめられた要望事項では下水道、上水道、砂防堰堤等があり、公共下水道事業や森林住居環境整備事業、水道整備事業で現在工事を進めています。</p>
			<p>・ダムの事故は過去にありましたか。</p>	<p>・ダムが壊れたことは世界ではあると思いますが、近代の日本ではありません。ダム容量以上の洪水になれば、調節せずに流入量をそのまま流すことはあります。</p>
			<p>・福井豪雨の影響で川底が高くなっています。県の区間と同じように上流や下流でも川幅を広げたり、川底を掘り下げてほしい。</p>	<p>・下流とのバランスを見ると現在の川幅で十分流せる能力があります。川の整備は県の計画に整合させて、上下流のバランスを考えて行っています。</p>
			<p>・足羽川ダム着工までの環境アセスを含め、80年に1回の洪水に耐えられるダムの完成までの一番早いタイムスケジュールはどれくらいですか。</p>	<p>・着手までに環境アセスで3年、その後の用地補償の対応に2年~3年かかります。ダム本体と海水川からの導水施設が出来るまでに今後20年必要と考えていますが、ダム効果の早期発現に向け、工期を短くする努力をしています。</p>

足羽川ダム計画案 住民説明会概要

開催日時	場所	参加人数	質疑・意見	回答
			<p>・しっかり応援していきますので早くダムを作ってください。(要望)</p>	
<p>H18.7.5(水) 19:30~21:00</p>	<p>坂井市 (坂井町地域交流センター交流ホール)</p>	<p>約70人</p>	<p>・足羽川ダムは穴あきダムと聞いていますが、河川維持用水を溜めるべきだと思います。このような洪水調節専用のダムは益田川ダム以外で、全国にどれだけ例があるですか。また、池田町の地域整備計画を早く行い、ダムを早く完成させてほしい。</p> <p>・堤防の余裕高について分かりやすく説明してください。</p> <p>・ダムの耐用年数は80年と聞いています。ダムに土砂が堆積して80年もするとコンクリートが劣化して、土砂の重みに耐えかねてダムが破砕し、溜まった土砂が破砕流となると考えられます。世界は脱ダムの方向に動いています。このことについてどのように考えていますか。</p> <p>・福井豪雨の洪水被害に対して科学的検証をどのようにされたのか。洪水の要因として、幸橋架け替えの矢板や橋梁の桁の低さが流れを阻害した。河川改修の遅れがあったと考えています。これらに対してどのように考えていますか。</p> <p>・必ずしも豪雨はどこに降るか一概に言えない、当たりはずれがあるもの。豪雨の場所によってダムの効果が無くなるのではないですか。このことについてどのように考えていますか。</p> <p>・アセスはいい加減なもの聞いてる。数字の信憑性は、真剣に生活者の立場に立って考えなければならない。</p>	<p>・利水が撤退後、環境用水については、流域委員会で維持流量はあることが望ましいが、緊急的な要素はないということで理解が得られました。このようなダムの例としては、熊本の立野ダムなどがあります。</p> <p>・ダムを早期に完成させるために努力し、水没者の生活再建や地域振興についても事業主体として責任をもって取り組んでいきます。</p> <p>・堤防の高さは計画高水位と余裕高を合わせて決めています。堤防は土で出来ているため水に弱く、洪水時にうねりや波で水が堤防を越えると堤防がえぐられる危険があります。また、洪水時に上流から木等が流れてきても橋にあたったり、引っかかりたりしないように橋桁の下に空間を確保しなければなりません。さらに河川管理者は洪水の時に堤防の状態を巡視して、しっかりと点検しなければいけません。水が溢れた状態では適切な活動が出来なくなります。以上のことから余裕高は河川計画上、河川管理上どうしても必要なのです。</p> <p>・日本のダムは100年間の堆砂で計画しています。堆砂容量の大きい天竜川等でも今のところ満砂した事例はありません。また排砂施設などの取り組みも進んでいます。ダムのコンクリートは超高密度、高品質、高強度であり、昭和30年代建設のダムのコアを抜いて検査したところ、40年経過した今でも当時の強度をそのまま保っています。日本のみならず海外でもダムの整備をしている国は多くあります。</p> <p>・河川改修については、昭和30年代から1次改修、2次改修として実施してきました。幸橋、JR橋梁と架け替え、下流から掘削しようとしていたところへ福井豪雨が来た。一定の計画の下に改修を進めてきたことにご理解願いたい。</p> <p>・足羽川流域では冠山、部子山の山麓に降雨が集中する傾向があります。過去の主要な洪水で検証した結果、部子川でのダム計画位置で所定の洪水調節効果が確保されることを確認しています。</p> <p>・数字の信憑性について、我々は使命、倫理、責任感を持って仕事に携わっています。これまでの経年的なもの、理論的なものを含めて真摯に皆様にわかりやすくするための資料・データを揃えてきています。また、今後もわかりやすくするため引き続き改良を重ねていきます。</p>